

大雪地区広域連合 第3期介護保険事業計画策定状況について

～介護保険事業計画の基礎数値の推計～

高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けるため、介護保険法にもとづき大雪地区広域連合介護保険事業計画を策定中(2月末現在)です。第3期介護保険事業計画を策定するにあたり、人口、高齢者数、介護認定者数等の推計を行ないました。

この推計値と介護サービスの利用動向・アンケートの結果をもとに、今後3カ年間の介護サービス量や、平成18年4月の介護保険制度の改正にもなって新設される介護予防サービス量等を推計し、必要な財源の算定を行ないます。基礎となる数値の推計結果についてお知らせします。

人口推計および要介護(要支援)認定者の推計

人口推計は、住民基本台帳登録住民、高齢者実態調査等をもとに厚生労働省の示した人口推計方法(コーホート要因法)により推計しました。要介護等認定者数の推計にあたっては、人口推計をもとに平成17年度における要介護者数を基礎に推計しました。

表1 平成20年度までの推計

(関係町合計)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度
総人口	28,638人	28,942人	29,119人	29,299人
高齢者人口	7,163人	7,339人	7,467人	7,597人
高齢化率(%)	25.0%	25.4%	25.6%	25.9%
要支援1～2	256人	546人	598人	623人
要介護1～5	1,071人	945人	977人	1,027人
合計	1,327人	1,491人	1,575人	1,650人
出現率	18.5%	20.3%	21.1%	21.7%
出現率(北海道)	16.3%			
出現率(全国)	16.2%			

出現率 = 認定者数 ÷ 高齢者人口

サービス利用者の推計

在宅サービス利用者の推計

在宅サービス利用者については、要介護等認定者数を基礎に算出しました。大雪地区広域連合では、要介護等認定者の概ね80%の方が在宅系と施設系の介護等サービスを利用すると推計しました。また、介護保険制度改正にもなう要介護度等の区分変更により、現在、「要介護1」の認定を受けられている方の一部が「要支援2」に区分される推計を行なっています。

表2 在宅(介護)サービス利用者の推計

(関係町合計)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度
介護予防給付 要支援1～2	173人	391人	425人	426人
介護給付 要介護1～5	546人	396人	374人	379人
計	719人	787人	799人	805人

施設サービス利用者の推計

介護保険施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設)の利用者については、現在の利用者を基礎に推計しました。

表3 施設サービス利用者の推計

(関係町合計)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度
介護老人福祉施設	198人	217人	203人	193人
介護老人保健施設	131人	125人	125人	126人
介護療養型医療施設	22人	33人	33人	33人
合計	351人	375人	361人	352人

次号では給付費等の推計結果をお知らせいたします